

牛久：学校周辺に見る自然

第21号 牛久二中

2012年7月25日発行

< モッコクが咲いています。 >



牛久二中の理科室前で、モッコクの花が咲き、甘い香りを漂わせています。と、書き出しましたが、これらの写真を撮ったのが7/18、ちょうど1週間前なので、正しくは「咲いていました」ですね。咲き始めの花の数が少ないうちは、ランにも似たとてもよい香りがしますが、咲き進んで花数が増えてくると、むせかえるような強い香りこころで心地よいとはいえなくなります。同じ成分せいぶんだろうにね。花には、

ツマグロキンバエやミツバチがたくさん来ていました。それから分かりますが、雄しべだけで雌しべがありません。じつは、モッコクには雄花おぼなだけをつける木と、雄しべに囲まれた中央に目だつ雌しべをもつ花りょうせいけい（両性花）をもつ木とがあるのです。雄花は、両性花から雌しべたいけいが退化したものと考えられています。写真の木は雌しべがないので、花が咲いても実はできません。【理科支援員：宮内】



モッコクの花みつや花粉をなめるツマグロキンバエ。この木には雄花しかなく、実はできない。